

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	社会教育委員会議運営事業					事業コード	100501630232					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実				施策コード	421					
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	225	頁
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法、福知山市社会教育委員の定数等に関する条例、福知山市社会教育委員の会議運営規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	住民が生涯にわたり学び続けられる機会や学習等の教育ニーズを行政施策に反映すること、また、社会教育事業の調査・研究、社会教育のあり方について積極的に議論をし、様々な取組の提案や答申、提言を教育委員会に対して行う。											
対象者	福知山市社会教育委員			対象者数	9		単位あたりコスト	183.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 分担金支出											
委託先・実施主体等	京都府社会教育委員連絡協議会、中丹社会教育委員連絡協議会											
事業概要 (箇条書き)	○社会教育委員会議の開催(12回/年程度) ○中丹・京都の研修会等に参加											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	報酬	488		委員報酬								
	需用費	13		事務用品、冊子(社教情報)購入費								
	役務費	4		郵送料								
	負担金補助及び交付金	25		中丹・府分担金								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	598	985	553	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①~③)	598	985	553	0		
予算財源内訳	① 一般財源	598	985	553	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 65	0			
	② 配当予算	533	985			
	③ 執行額	373	530			
	④ 執行率	70.0%	53.8%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.17 / 0.00	0.14 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	1,360	1,120			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,733	1,650				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	提言実施数	回	1 / 1	0 / 0	1 / 1	/ 0	隔年ごとに1
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	会議開催回数	回	11 / 12	5 / 6	7 / 12	/ 6	12
	単位あたりコスト		63.4	74.6	75.7		
	単位あたりコスト		/	1 /	/	/	/社会教育委員会議運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育法に基づく設置であり、市民の声を社会教育行政に反映するという役割を担っており、教育委員会に答申や提言をする機関として必要。令和4年度よりテーマや研究の方向性、具体案について議論を重ね、令和6年3月に提言書「人を育む社会教育のあり方～人材の見いだしとその育成～」を教育長に提出した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 委員定数は、条例に基づき10人以内(第20期は9人に委嘱)で運営を行い、会議を実施した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な課題等の調査研究を踏まえ、社会教育に関する答申や提言を教育委員会に対して2年に1度行っていたが、市の社会教育・生涯学習の推進事業に反映させている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>○令和5年度の提言提出に向け、社会教育の課題に目を向け、提言のテーマやそれに伴う研究の方向性について議論し、確認を行った。 ○課題として、提言を社会教育活動に具体的に活用できる方法を考えなければならない。</p>		
改善策	<p>○社会教育・生涯学習に対する市民の意識の深化、学校・地域との連携、協働等について、公募により広い知見を持ち、社会教育に関心と熱意のある委員の確保を進める。 ○提言書以外にも随時、コロナ禍における福知山市の社会教育についてなど、今後の社会状況に応じた社会教育の在り方や現代的課題の解決に向けた具体例の提案についても協議検討を行う場とし、市民が心豊かで充実した生活を送り、「共に幸せを生きる」社会の実現を目指す。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	生涯学習一般管理事業				事業コード	100501630240		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり		
	施策名	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実			施策コード	421		
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	岸見 貴志		
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	-							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業	-							

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	生涯学習課の事務を円滑に行い、生涯にわたり学び続けられる機会を充実させる							
対象者	市民	対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等	三岳地区自治会							
事業概要 (箇条書き)	○市民対応、議会対応、課内調整など課の庶務、予算にかかる事務 ○社会教育・生涯学習に関する社会教育事業の後援、福知山市生涯学習まちづくり出前講座の実施に係る計画等 ○生涯学習情報誌等による生涯学習の推進 ○事務用品の購入や維持管理							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	報償費	45	旧三岳青少年山の家活用事業民間提案制度外部					
	旅費	26	職員旅費(京都府社会教育研究協議会、京都府地域学校協働活動推進委員会)					
	需用費	808	消耗品費(事務用品、用紙、消毒用物品他)、印刷製本費(社会教育事業のまとめ、社会教育の重点)					
	役務費	511	電話代、郵送料、切手代、建物損害共済分担金(三岳青少年山の家)、ごみ廃棄手数料					
	委託料、使用料及び賃借料	515	三岳青少年山の家周辺草刈業務、複合機使用料					

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	1,738	1,723	1,788	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	1,738	1,723	1,788	0				
予算財源内訳	① 一般財源	1,724	1,708	1,773	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	14	15	15	0			
決算情報	① 流充用額	304	182					
	② 配当予算	2,042	1,905					
	③ 執行額	1,947	1,905					
	④ 執行率	95.3%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.72 / 0.00	0.21 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	5,760	1,680					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,707	3,585						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(旧三岳青少年山の家)	種類	教育使用料	実績金額	15	10	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		まちづくり出前講座実施回数	回	9 / 12	8 / 12	11 / 12	/ 12
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	生涯学習課事務事業数	事業数	20 / 20	19 / 19	18 / 18	/ 18	18
	単位あたりコスト		29.2	102.5	105.8		
	単位あたりコスト		/	3 /	/	/	生涯学習一般管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの場づくりのため、必要な事務的経費及び関係各課、団体等との連絡調整、庶務的経費として必要である。 令和4年度の社会教育事業をまとめた生涯学習情報誌を作成するなど、市民へ向けて生涯学習の推進を行った。 「福知山市生涯学習まちづくり出前講座」において、多様化する学習ニーズや市民の生きがいがいづくりに向けて、より豊富なメニュー提供を行うため、令和5年度は外部団体からの講師派遣依頼を行い、(公社)福知山市文化協会の加盟団体より計42講座をメニューに追加させていただいた。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 事務用品等は在庫管理を徹底し、安価な物品調達をするなど予算執行を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の重点や社会教育事業のまとめを作成・配布することにより、教育目標や生涯学習事業の情報提供ができた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>○生涯学習課事業の事務的経費として適切な執行を行っている。事務に係わる用品等は、計画的な調達と在庫管理で、無駄な購入のないように実施している。遅滞ない事務執行により、適切な市民サービスを提供できた(定性的評価)ことにより、社会教育の重点に基づき、福知山市民の生涯学習を豊かにするための事業を進めることができ、共に幸せを生きる地域社会を支える一役を担うことができたと考える。</p> <p>○旧三岳山の家については、民間型提案制度を導入し、令和6年度より民間会社による運営が開始された。</p>		
改善策	<p>○スクラップ&ビルドを心がけ、事業統合等を検討しながら市民サービスの向上に努める。また、生涯学習社会の実現に向け、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切にしながら人がつながる地域づくりを進める事業を展開する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--